

猫が庭などに入らないようにする方法

猫が庭などに入らないようにするために効果があると思われる方法をご紹介します。猫には個体差がありますから、あまり効果がなかったり長続きしない場合もあります。

～実施におけるポイント～

猫が『嫌がること』を、『慣れられない』ように、『学ぶまで』行いましょう。猫は縄張り意識がとても強い生き物ですから、はじめは嫌がっていても更なる対策を立てなければまた縄張りへ戻ってきます。いろいろな方法で繰り返し行いましょう。

これからご紹介する忌避方法を試される時、猫の侵入経路・通り道・排せつする場所などを調べておくと更なる効果が期待できます。

忌避剤

猫の嫌いな臭いで刺激を与える方法です。庭や花壇に撒いたりして行います。

- 雨風で効果が薄れるので、定期的に交換する必要があります。
- 猫が臭いに慣れてくると効きづらくなるので、時々種類を変えるようにしましょう。
- 臭いが強いものや色が付くものもありますので、注意して行いましょう。
- あらかじめ近所の人にも説明しておきましょう。
- 化学薬品は健康被害が出る可能性がありますので、使用を控えましょう。

名称	実施の方法・ポイント
市販の忌避剤	ペットショップや薬局、ホームセンター等で販売されている。 (短期間では効果あり。雨の時や長期間の効果は見込めない)
食用酢	食用酢をスポンジや布に染み込ませて置いておく。 (風上に置くなど、臭いがわかりやすくすると良い)
木酢液	木酢液を散布する、空き缶に入れて通路に置いておく。 (スポンジ等に吸収させると効果が持続する)
漂白剤	塩素系漂白剤(ブリーチ・ハイター等)をよく希釈してスポンジや布に染み込ませて通路に置いておく。
みかん等の柑橘類	みかん等の柑橘類の皮を、目の細かい網の袋に入れて吊るす。 (風上に置くなど、臭いがわかりやすくすると良い)
ハッカ油	ハッカ油を薄めてスポンジや布に染み込ませて通路に置く。 (風上に置くなど、臭いがわかりやすくすると良い)
ドクダミの葉	ドクダミの葉をつぶしたものや、その汁を撒く。
ニンニク	ニンニクを細かく切って土に撒いたり、目の細かい網の袋に入れて吊るす。(風上に置くなど、臭いがわかりやすくすると良い)
お米のとぎ汁	とぎ始めの濃い汁を散布する。(ふん尿をされる場所に散布)
ハーブ類を植える	ハーブを植えたり、ハーブ系の香料などを撒く 例)ゼラニウム、ローズマリー、ペパーミント、マリーゴールド

障害物など

猫が入ってくる場所や休憩する場所、足場になる場所に猫が嫌がるものを置く方法です。

- ・猫は環境が大きく変化することを嫌います。
- ・猫がケガをしてしまうような仕掛けはやめましょう。
- ・方法によっては費用がかさむものがあります。よく検討のうえ実施してください。

名称	実施の方法・ポイント
バークチップ (園芸装飾用木片)	大きめのバークチップを撒いて、歩きづらくさせる。
防犯砂利・尖った石	上を歩くと音がして、足元が不快に感じる。
水を撒く	水を多めに撒いて、土を十分に湿らせる。 (猫は水が嫌いで、濡れた場所やぬかるみを避ける)
枯れた枝	球根や種が植えてあるところに一緒に埋めると掘り返されない。 (猫はやわらかい土や砂を好む)
地面を覆う	猫はやわらかい土や砂を好むためコンクリート等で地面を覆う。
ガムテープ	ガムテープを輪っか状(粘着面が外側)にして通路に設置する。 (塀や狭い通路に効果あり)
EM菌消臭剤	EM菌(微生物分解促進剤)を撒く。ふん尿の臭いを抑制する。 ガーデニングや畑の肥料にもなる。
卵の殻	卵の殻を荒く砕いて撒く。(肉球が刺激されて不快になる)
とげ状シート	通路及び足場になる場所に置く。(肉球が刺激されて不快になる)
園芸用の灰	園芸用の灰をばら撒く。 (猫は体を舐める習性があり、足が汚れるのを嫌う)
網戸・フェンス用網	フンする場所に敷き、四角を石等で押さえる。(爪に引っかかる)
ネットや柵	猫が乗り越えられない高さ(1.5m程度)のネット、柵で塞ぐ。
レンガやブロック	猫の侵入経路(地面に近い、入りこめる場所)に置いて塞ぐ。
センサー感知ブザー	猫が通るとブザーが鳴る。(防犯用で販売)※1台2,000円程度
センサー感知超音波	近くを通ると猫が苦手な超音波が出る。(一方向への効果あり) ※1台5,000円程度

注意事項

- ・これらの忌避方法は比較的效果があると思われる方法ですが、猫の個体差によって効き目が異なります。効果がでない場合は他の方法をお試しください。
- ・猫が「居心地が悪い」ということを覚えるまで、根気強く続けることが大切です。
- ・虐待や遺棄にあたる行為は絶対にやめましょう。法律によって罰せられます。